

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3992000012
法人名	社会福祉法人 緑風会
事業所名	グループホーム 慎太郎
訪問調査日	平成 19 年 8 月 29 日
評価確定日	平成 20 年 3 月 29 日
評価機関名	高知県社会福祉協議会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平19年11月15日

【評価実施概要】

事業所番号	3992000012
法人名	社会福祉法人緑風会
事業所名	グループホーム慎太郎
所在地 (電話番号)	高知県安芸郡東洋町大字内字王子田353-1 (電話)0887-29-3302

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成19年8月29日	評価確定日	平成20年3月29日

【情報提供票より】(平成19年7月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18 年 4 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	13 人	常勤 11人, 非常勤 2人, 常勤換算 12 人	

(2) 建物概要

建物形態	併設/ 単独	新築 /改築
建物構造	木造り	
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	18,000円	その他の経費(月額)	光熱水費6,000 円	
敷金	0			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(無) 円	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	350 円
	夕食	350 円	おやつ	0 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(7月20日現在)

利用者人数	12 名	男性	4名	女性	8名	
要介護1		4名	要介護2		4名	
要介護3		3名	要介護4		1名	
要介護5		0名	要支援2		0名	
年齢	平均	84.5歳	最低	72歳	最高	92歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	寿美医院 東洋歯科クリニック	2
---------	----------------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

高知県と徳島県の県境に位置した海辺の町にある事業所である。施設敷地内にはデイサービスセンターが併設されている。生活圏も15分程度のところにスーパーがあり、そこを主に利用している。海岸近くに位置することから、南海地震対策として避難誘導などの課題がある。避難路には橋があり落下することも想定され、また避難場所までの距離を利用者が歩けるかと職員も懸念している。事業所には重度化に配慮した入浴設備もある。食事は併設しているデイサービスセンターで調理しており、事業所内での食事の準備は、月曜日から金曜日までは盛り付け・配膳・下膳・食器洗いを行い、土・日曜は調理もしている。施設内の菜園で利用者と共に栽培した野菜などを収穫して食材として利用している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 今回初めての評価であり、今後に期待する。
	②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 全職員で取り組むことが出来ており、今後に期待する。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議がまだ十分活用されていないことから、今後、双方間の意見が活発になるにつれ、それぞれの立場が生かされた取り組みや連携のなかで、地域に根差したグループホームとして、運営されることを期待する。
重点項目	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族への状況報告は、定期的には行われていない。法人からは定期的に便りが発行されているが、利用者のホームでの暮らしが感じられる施設独自の便りや報告をすることを望む。家族の意見も聞く中で、金銭管理の規定を定め、現金を持たない利用者にも小額でも自分で使う機会を持たせ生活観を無くさないよう支援することが求められる。
重点項目	⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域での行事(夏祭り・保育所の夕涼み会など)に参加するなど交流できている。今後、運営推進会議が充実するにつれて地域と密着することが期待できるが、ホームとして地域での役割や義務も地域を構成する一員として求められることも考慮されたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 〔定期的に運営推進会議を開催し、意見や提案に対し取り組むことができています。〕 <input type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 〔評価は初めてであり、その結果を受けての改善への取り組みはこれからである。〕		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 〔行政には報告や相談をしている。事業所の活用はないが、役場の開催する研修等には参加している。〕	○	連携はできているが、そのことが利用者のサービス向上に繋がることを期待する。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 〔面会にきた家族には、利用者の近況を話す事ができている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 〔来れない家族には、手紙に写真を添えて送っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 〔利用者に変化があったときは必ず報告している。〕 <input type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 〔 〕	○	定期的な法人の便りの発行に添えて、利用者のホームでの暮らしぶりを施設独自の便りなどで報告されることを望む。 金銭を持たない利用者にも、小額でも自分でお金を使う機会を持たせ、生活感を無くさない支援が求められる。金銭管理等の取り扱いについては、施設(法人)や家族等とも相談して、取り決め利用者がより充実した生活が送れる対応を期待する。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 〔家族会や家族も参加する運営推進会議などで意見が出せる仕組みがある。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 〔苦情受付箱や第三者委員会を設置している。しかし苦情は表面にはなかなか出しにくいものであり、第三者委員会等の役割を家族会などで話しておくことで苦情が拾えることも考えられるので積極的な対応を期待する。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 〔職員との馴染みの関係を考慮し支援をしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 〔 〕		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 〔パート職員にも施設内外での研修の機会を設けている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 〔研修報告書の提出や職員会で報告している。〕		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 〔高知県グループホーム協会に加入し情報交換や研修に参加している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 〔同法人のグループホームや近隣のグループホームと交流する中で、サービス向上に繋げている。〕		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 〔入所前には面接を行い、心身の状況や生活歴、病歴など本人や家族の状況を把握している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 〔施設の見学や隣にあるデイサービスを利用して遊びに来てもらっている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>□日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 〔洗濯は、干す、取り込む、たたむ、食事は、朝は職員、昼・夕はデイから運んできて盛り付けと後片付け、掃除は職員が行う、入浴はほとんどの方が見守りも含め一部介助、概ね日々の生活場面である。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 〔畑作りや花の水遣りなど生活の中で役割があり、和気藹々とした共同生活の場面がある。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 〔畑作りや施肥の方法、採れた野菜の料理方法など教えられる場面がある。〕</p>	○	グループホームの基本である共に生活することへの支援がどの様にあるべきか、を今一度検討された。個々の生活の中で洞察された、残存機能を活用した自立支援等が求められる。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 〔生活する中で、その都度、話を聞きながら思いや希望の把握に努めている。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 〔家族の来訪時や電話で情報を得たり、本人の些細な行動など見逃さないようにしている。〕</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 〔 〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 〔定期毎・状態の変化時の見直し、モニタリング、カンファレンスを行っている。〕</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 〔 〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 〔身体状況や本人の変化に合わせて見直している。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 〔 〕</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながら生活が継続ができるように努めている。 [かかりつけ医等とも連携をもち生活の継続ができています。] <input checked="" type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 [現在、症例はないが、重度化の際は家族とも話し合いケアを提供できる体制はある。] <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 []		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 [かかりつけ医や本人が希望する医療機関を受診している。] <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 [定期的な受診や通院は家族と相談して支援している。] <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 []		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 [対応方針は定められてなく、話し合いもこれから検討する。] <input type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるように取り組んでいる。 []	<input type="radio"/>	本人や家族の意向に沿った重度化や終末期に取り組むための方針を明確にしておくことが求められる。訪問看護等、特に医療との連携が不可欠であり、本人・家族が安心して暮らせる体制作りを望む。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 〔職員にはプライバシーを守ることを徹底しおり実践している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 〔 〕		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 〔利用者の趣味や外出等生活リズムに合わせた支援をしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 〔利用者の通院や外出などを優先して一人ひとりのペースを大切にしている。〕		
(2)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 〔月曜日から金曜日までは隣接するデイサービスで食事は調理されて、施設内で配食、配膳、後片づけを職員と利用者で行っている。食事作りは土・日にはホーム内で行っている。〕 <input type="checkbox"/> 職員は食事の介助に止まらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 〔食事は共に食べているが、同じ物を食べている職員は1名のみであり、他の職員は持参の弁当等であった。〕	○	食事作りが、土・日のみであり、利用者が力量を発揮する機会が少ない。また共に同じ食事を楽しむことへの支援が利用者理解や自立支援へつながることもある。何故一緒に食事をし、同じ物を食べる事が、支援に繋がるのかを利用者の心理的な面も踏まえて検討されることを望む。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 〔入浴は毎日出来るように柔軟な体制ができています。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりに合わせた入浴支援を行っている。 〔一人ひとりのADLレベルに合わせる事が出来る入浴設備もあり、個別対応ができています。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 〔家族や本人から生活歴を聞き、役割や楽しみごとの把握に努めている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 〔料理や菜園作りなどで利用者の経験や知恵を発揮することができている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 〔新聞取りや花木への散水・洗濯物の片付けなど、役割を作り出すため働きかけている。〕		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 〔馴染みの店やスーパーなど、車で時々出掛けている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 〔 〕 <input type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 〔散歩には出掛けることができている。〕	○	外出の機会は設けられているが、日常的にスーパーなどで買い物をすることにより、若かりし頃の姿が垣間見えたり、季節感があったり、五感が刺激されるのでより一層日常的な外出支援を期待する。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 〔外出の習慣や傾向を把握しており、不穏や興奮時などには、家族に電話したり外出に付き合ったりの対応をしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 〔近所にもホームの理解が得られ、利用者を覚えてもらったり連絡してもらえるような関係作りができている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 〔年2回、消防署も参加した避難訓練が行われている。マニュアル・避難訓練実施記録もある。〕 <input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 〔 〕	○	周囲の環境から、今後、予測される南海地震への対応策について検討されているが、地域住民の協力が不可欠であり、日頃から住民参加による訓練をおこない、ホームの現状を知ってもらうと共に、非常時の体制作りが求められる。また、非常用食料等の備蓄についても早急に検討されたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 〔食事や水分摂取量の記録があり一人ひとりの摂取量を把握している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 〔食事の様子や会話の中から、嗜好を把握したり献立を決めたりしている。〕 <input type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 〔 〕	○	健康管理の観点からも食事状況の把握は重要であり、適宜、専門家による献立や食事状況へのアドバイスを受ける体制作りが望まれる。特に、体調不良時や食欲不振の際などに代替食などが提供できるような配慮も望む。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 〔 〕 <input type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気壊していない。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 〔壁面の装飾からは季節を感じる事ができる。〕	○	部屋の名前の掲示や壁面にある掲示物が目線より高い位置にあり利用者には解りにくいので改善を望む。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 〔 〕 <input type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。 〔 〕	○	部屋に時計や暦などを持っていない利用者が見受けられた。時を意識することへの配慮も検討されたい。